

# 上越地域退職者連合

## たっしやで上越の輪

### 会報 1 2 号

★発行 2019年12月2日

★発行人 会長 小山正明

★事務局 上越市五智3丁目3-10

(連合新潟上越地域協議会内)

☎025-544-0550

## 第25回定期総会終わる

上越退職者連合は第25回定期総会を9月5日、直江津鳥まんにおいて役員15名、代議員25名、来賓4名の44名が参加し開催しました。金勝副会長の司会で始まり、JP 労組高田支部三浦氏を議長に選出し、小山会長挨拶、ご来賓の3名の挨拶を受けました。(尚、県退職者連合からはメツセージを頂きました)

その後、山崎事務局長から2018年一般経過報告、会計報告、秋山会計監査員から監査報告を受け承認を頂き、引き続き2019年運動方針(案) 予算(案)を提起し全体の拍手で承認を受けて総会は無事終了しました。

### 小山会長あいさつ要旨

- 1、7月の参議院選挙は相手候補のミスもありましたが、新潟県人のパワーを示しました。今、高齢者、老人のパワーが求められています。
- 2、私達のほとんどが年金生活者です。年金、介護、医療等社会保障の状況がどこが問題なのか分かりにくい。政治の問題なのではないでしょうか。年金2000万円問題、制度そのものが壊れていくのではないのでしょうか。今、年金をもらっている人が改善していかなければなりません。
- 3、県の財政が赤字になっています。三役、賃金カットしていく。これが一般職員に及ぶのではないのでしょうか。まだまだ退職者の皆さんが頑張らなければならない状況です。若者も、もう一度頑張らなければならない時ではないのか。その時期を希望しつつそれまで頑張ってください。
- 4、来年4月市議会議員選挙です。連合推薦候補の全員当選を。又次期衆議院選挙は梅谷氏の当選を目指して頑張りたい。



あいさつする小山会長



ご来賓の皆様方

### <梅谷氏との意見交換会開催>



発言する梅谷氏

総会終了後、総会参加者と梅谷氏との意見交換会を開催しました。先ず梅谷氏から挨拶も兼ねて ①現段階の政治情勢について ②そうした状況を生み出したものは ③これからどうしたらいいのか ④次期衆院選への決意の大きさを4点にわたって述べられました。

以上の基本的考えに基づき現在の安倍政権の具体的政策の問題点等検討、批判が提起されました。

それに対して意見交換が行われ、「いずれにしてもこの次の選挙は絶対に負けられない、退職者連合も最大限の力を発揮して奮闘する」ことを全体で確認し意見交換会を終了しました。

## メッセージ

上越退職者連合第 25 回総会おめでとうございます。

さて新潟県退職者連合は 7 月 30 日、第 27 回年次大会を開催し、2019 年度の活動方針を代議員で確認してきたところです。10 月には消費税の増税など控えており、年金生活者などの社会的弱者の生活はますます苦しくなろうです。又「社会保障制度の持続可能」が危ぶまれてきています。このように取り巻く情勢は大変厳しいですが、社会福祉制度の益々の充実を訴えた大会となりました。新潟県退職者連合の活動を益々活性化していくことが重要と思われまます。結集された各組織、各地域と連携を強めていきたいと思ひます。貴、地域退職者連合の皆様のお力添えをお願いしたいと存じます。

今年の県退職者連合 27 回大会のスローガンは「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう」でした。3 年連続同じですが改めてこのスローガンのような社会を実現するために頑張りましょう。今総会を機に「貴、上越退職者連合」の活動がますます活発化することを心から祈念します。

新潟県退職者連合会長 早川武男

### ご出席頂いた、ご来賓の皆様

連合上越地域協議会事務局長 早川英雄様  
労働金庫直江津支店支店長 星井宣子様  
全労済上越支所長 米田 東様

### 連海上越早川事務局長挨拶要旨

- ・連合結成 30 年になります。組合員数が減少している。それに伴う財政も厳しくなっています。でも運動に支障の無いように頑張りたい。
- ・それに伴い選挙闘争も厳しくなっています。来年の市議選、梅谷さんの選挙も退職者連合の皆さんのお力をお借りしたい。

## 2019 年度役員 体制

役 職	氏 名	単 会 名
会 長	小山 正明	新潟県高校退職者の会上越支部
副 会 長	金勝 和久	NTT 労組退職者の会上越地区協
事務局長	山崎 泰一	自治労上越市退職者会
事務局次長	武田 滋	JR 東労組直江津支部 OB 会
幹 事	小池 洋	県退職教職員連絡協議会上越支部
幹 事	小日向保一	日本ステンレス退職者の会
幹 事	古川 政繁	JP 労組高田支部退職者の会
幹 事	長谷川 茂	JP 労組上越支部退職者の会
幹 事	堀川 敏治	日層二本木高齢者協議会
幹 事	白澤 隆久	県農林水産省退職者の会上越支部
幹 事	西山 隆幸	新潟県退職者の会東頸城支部
幹 事	小林 正男	大島農機支部退職者協議会
幹 事	太田 吉昭	理研製鋼柿崎支部高齢者退職者協議会
会計監査	大野 敏夫	有沢製作所労働組合 OB 友の会
会計監査	秋山 圭一	林野関連退職者の会高田支部

年度この体制で  
頑張ります。よ  
ろしく願いま  
す。

# 第6回学習会開催

～いかに健康寿命を延ばすのか～



挨拶する小山会長



一生懸命話を聞く会員

## 講演と実技で学ぶ

上越退職者連合は、10月25日14時～、上越市民プラザにおいて、50名弱の会員の参加で、第6回目の学習会を開催しました。

金勝副会長の司会あいさつで始まり、小山会長は『先の第25回総会の方針に踏まえこの学習会を開催しました。要介護者にならないように、又皆で元気に長生きできるようにこの学習会を参考にして、お互い頑張っていきたい。』等の学習会開催にあたっての挨拶がありました。

講演は2つ行われ、それぞれの話と2つ目は実技を交えて行われました。終了後、主催者側からのアンケートにご協力していただき学習会は終了しました。

## 講演内容と講演者

	一つ目講演	二つ目講演
演 題	生活習慣病の予防と血管を守る為に	今日からできる転倒・骨折予防
講 演 者	上越市健康づくり推進課 保健師長 竹田利恵様	上越市高齢者支援課 作業療法士長 廣瀬志保様
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個人の取り組みが社会保障に影響します</li> <li>◆血管内皮を傷めているリスクは何だろう</li> <li>◆血管の状態は</li> <li>◆私の血圧値はどの段階</li> <li>①成人における血圧値の分類</li> <li>②私の降圧目標血圧は</li> <li>◆高血圧になると影響を受ける臓器はどこか</li> <li>◆家庭で血圧測定する目的は</li> <li>◆食品の基準値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上越市の介護保険の実態について</li> <li>○転倒の要因 骨折しやすい体の部位ってどこでしょう</li> <li>○転倒しやすい体か、ご自分の体をチェックしましょう。</li> <li>○転ばない体づくりをしましょう</li> </ul> <p><b>その後、実技指導</b></p>
		

## 「学習会」結果とアンケートで出された意見

### 1、学習会と評判

- ① 期待以上23・7% ②期待どおり68・4% ③期待はずれ1% ④無回答5・9%

### 2、次回テーマ（希望の多い順）

- ① 病気の予防 ②要介護の予防 ③交通事故の予防 ④高齢者詐欺の予防 ⑤郷土の歴史を学ぶ

### 3、出された意見・感想

- ① 自然災害（特に水害）等に関する学習をお願いしたい。（河川が「越水」と「はんらん」するとは大違い「はんらん」すれば下階は浸水する。この注意喚起と対策の学習会をお願いしたい。
- ② 時期をとらえた適切な内容だと思います。ありがとうございました。後半の機能に関する運動の説明だけでも見せてほしいと思いました。
- ③ 今までの学習会で一番良かった。家に帰っても時々資料を見て学習していきたい
- ④ 今回のテーブルについて一考を
- ⑤ 簡単な動作で運動できる良かった。
- ⑥ 大変役に立ちました。要望としてアンケートに記入しましたが開催してください。
- ⑦ 運動が大変良かった
- ⑧ わかり易い話でよかった。

## 今後の県退職者連合の選挙活動について

10月9日、第1回地域代表者会議が開催され、県退職者連合の選挙活動について意見交換が行われ、以下のようになりました。私達もこの方針に踏まえて選挙戦を取組みたいと思います。

1 県退職者連合の規約の目的は「本会は連合新潟などと連携を強め、平和で豊かな社会を実現するための諸活動を展開し、退職者及び高齢者に係る社会福祉の向上を図ることを目的とする」です。この目的を達成するには、行政や各級議員に対する要請行動の他、目的に賛同いただける政党の勢力拡大と所属議員の支援も重要な営みと判断します。

2 県退職者連合の選挙活動については現・退一致を旨とする加入組織の政治方針と本会の活動は企業退職後の活動であることなどを勘案し、原則として次のとおり進めます。

尚、加入組織には企業のOB会として結成された組織や退職者会の結成にあたり「選挙活動には参加しない」との条件の組織もあります。それら事情をお互いが理解し合うこととします。

- ①、個々の組織推薦は連合新潟からの推薦要請を踏まえ対処します。
- ②、具体的な取り組み方針は、「緩やかな連帯」をモットーに幹事会で意思統一し対処します。必要により地域退職者連合代表者の出席も求めます。
- ③ 衆・参議員選挙は
- ア、加入組織は現・退一致の観点から当該産別方針に基づき取り組みます。
- イ、地域退職者連合における活動は、地域連合と連携して取り組みます。
- ④、地方自治体選挙は
- ア、首長選挙は連合新潟の方針を踏まえて取り組みます。
- イ、連合組織内議員選挙は、加入組織の活動方針に委ねます。それ以外の取り組みは連合新潟の方針を踏まえて対処します。